

2015年7月23日、福山市加茂町百谷・国道182号線において土砂崩れが発生した。これにより、周辺の基地局の伝送路が切断され、サービス中断が発生した。

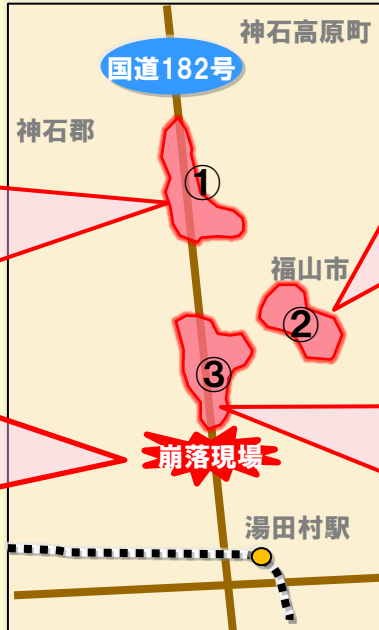
土砂崩れの周辺で面的にサービス中断が発生したため、各種災害復旧機材を活用した迅速なサービス復旧措置を行うとともに、周辺住民への迅速な周知を行った。

## 土砂崩れの状況と災害復旧機材によるサービス回復措置

土砂崩れの周辺3か所で、面的なサービス中断が発生した。理由は基地局の伝送路が切断されたためである。伝送路の本格復旧には時間を要することから、衛星エントランスによる代替え伝送路の構築など、各種災害復旧機材を活用して、迅速なサービス復旧を行った。



可搬ブースタ



土砂崩れの状況



衛星エントランス + 移動基地局車



可搬型衛星エントランス基地局



衛星エントランス (光伝送路の代替え)



可搬ブースタ

## 周辺住民への迅速な周知

周辺の住民の方々へ、土砂崩れの影響により携帯電話サービスが利用できない事象について、迅速な周知を行った。

具体的には、広報用車両を用いて周辺を周回し、車両に搭載しているマイクスピーカーにて直接の周知を行った。

サービス中断およびサービス復旧のタイミングで都度の周知を行うことで、お客様へのタイムリーな情報更新を行った。

車載マイクスピーカー

